

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24226013	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	都市環境防災のための高解像度気象情報予測プラットフォームの構築	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	大岡 龍三（東京大学・生産技術研究所・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（意見等）

我々の生活を取り巻く都市と建築の環境を支配する様々な要因を、高解像度気象情報予測モデルの開発によって分析する内容で、マルチスケール・マルチフィジックスを核とした先端学術的な試みであるとともに、安全で健康かつ環境負荷の小さな都市空間形成への貢献という社会的意義も高い。現在までに、詳細観測による不均一な地表面粗度を持つ都市上空風の実態把握、先進的な乱流モデルを用いた高密度市街地のマイクロ解析、風の収束域におけるエネルギー収支に着目した局地的豪雨直前の水蒸気輸送過程の評価に成功するなど、成果は着実に積み上げられている。今後、解析法の一層の改良や、GIS（地理情報システム）データや BIM（建物情報モデル）システムとの統合を促進することによって、所定の成果を上げることを期待する。